

編集後記

▼先日、陶芸講座の取材に行ってきました。第1回目の講座では粘土を使って形作りを行ったのですが、形成の段階から参加者それぞれの個性と芸術がこれでもかと言うほど爆発しており、見ていて面白かったです。私自身十数年ぶりに粘土に触ったためか、その日は一日中小学生に戻ったかのような心持ちでした。（岸本）

▼厚岸大橋開通50周年の記念イベントが、少しずつ情報解禁！私たち『大橋があったのが当たり前』世代が厚岸大橋のことを考えられるような事業にのけたらいいと思います。▼離乳食教室に取材に行くと、夫婦での参加が2組も！パパ2人が一生懸命おかゆをすり潰していました。結構大変な作業なので、パパがやってくれるのはきっとママも嬉しいはず！（濱）

▼取材で大黒島に初上陸！酔い止めを服用し準備万端でいざ出航！しかし、洋上でカメラを構えると・・・（あとはご想像にお任せします。）『船上（せんじょう）カメラマン』にはなれそうもないですね・・・▼取材を通じて新たな出会いや発見が多い毎日です。楽しみながら業務に励みます！（山口）

ひとのうごき

●人口／ 8,640人 （－38）
男／ 4,105人 （－12）
女／ 4,535人 （－26）

●世帯／4,223世帯 （－16）

●出生／ 0人 ●転入／17人

●死亡／13人 ●転出／42人

5月31日現在（ ）内は前月比

■発行／厚岸町
■編集／総務課広報統計係

〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <https://www.akkeshi-town.jp>
E-mail soumu@akkeshi-town.jp
法人番号 5000020016624



花で笑顔を咲かせたい
博田 カツエさん（81歳）

花のあるまちづくり推進委員会やフラワーマスターとして活動を続ける博田さん。平成8年にフラワーマスターとして北海道から認定を受け、20年以上も町内の花を守り育ててきました。

「もともと花が好きで、楽しみながら植えています。たくさんの方に花を見て笑顔になつて欲しい」という気持が、活動を続ける活力になつていくんですよ」と、やりがいを感じてくれました。

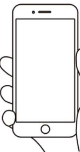
花の管理には苦労も多く、「花の水やりは、かなり力が入るんです。委員会は高齢化が進み、委員が少なくなつてきているので、若い方も一緒に活動できるとうれしいです。花は女性のイメージが強いですが、男性の方も大歓迎ですよ！」と、今後の活動についても積極的で、強い意気込みを感じました。

一つ一つていねいに花を植える姿は、とてもいきいきとしており、花が好きな気持ちが伝わってきました。花を愛でる博田さんの表情には、自然と『笑顔の花』が咲いていました。

Close up － クローズアップ －

花のあるまちづくり推進委員会やフラワーマスターとして活動を続ける博田さん。平成8年にフラワーマスターとして北海道から認定を受け、20年以上も町内の花を守り育ててきました。

「もともと花が好きで、楽しみながら植えています。たくさんの方に花を見て笑顔になつて欲しい」という気持が、活動を続ける活力になつていくんですよ」と、やりがいを感じてくれました。



#あっけしの暮らし

厚岸町公式
Instagram



フォローをお願いします！

5月20日から6月21日までの投稿で、『いいね！』が一番多かった投稿をご紹介します。この投稿は、203件の『いいね！』がありました。



Instagram

akkeshi_no_kurashi ...
Akkeshi-gun, Hokkaido, Japan

昨日まで寒かった厚岸町。今日、久しぶりに晴れ、20度以上に！
やっと「夏が来た！」と思わせてくれる暖かさになりました。空と海の青に、厚岸大橋と弁天神社の赤が映える一日でした。
[#厚岸大橋](#)
[#弁天神社](#)
2022年6月18日

♡ 🔍 📌

 厚岸町公式フェイスブックでもInstagramの投稿を見ることができます！